

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院新生児科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

当センターにおける一絨毛膜一羊膜（MM 双胎）管理についての研究

2. 対象となる方

2011年1月から2021年12月までの11年間に当センターで周産期管理を行った双胎のうち、MM 双胎と膜性診断した9組18例

3. 研究の目的

一般的にMM 双胎はMD 双胎やDD 双胎と比較して予後が悪いとの報告が多い。分娩についての一定の見解は得られていないがNRFSにより結果的に早期娩出が免れないことが多い。またMM 双胎においては児の先天異常のリスクも高く胎内診断が持つ意義は大きいですが、胎内診断は困難であるのが現状である。よりよい周産期予後のために必要とされる母体や児の出生後の管理について検討を重ねていくことが重要である。

4. 研究期間

倫理委員会承認後から2021年12月31日まで

5. 研究に使用する情報の種類

生年月日、性別、管理入院開始日、児の出生週数、出生体重、Apgar score、予後など

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市民病院新生児科 医師 松原千春

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院新生児科 医師 松原千春